

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第9週 （2月24日～3月1日）

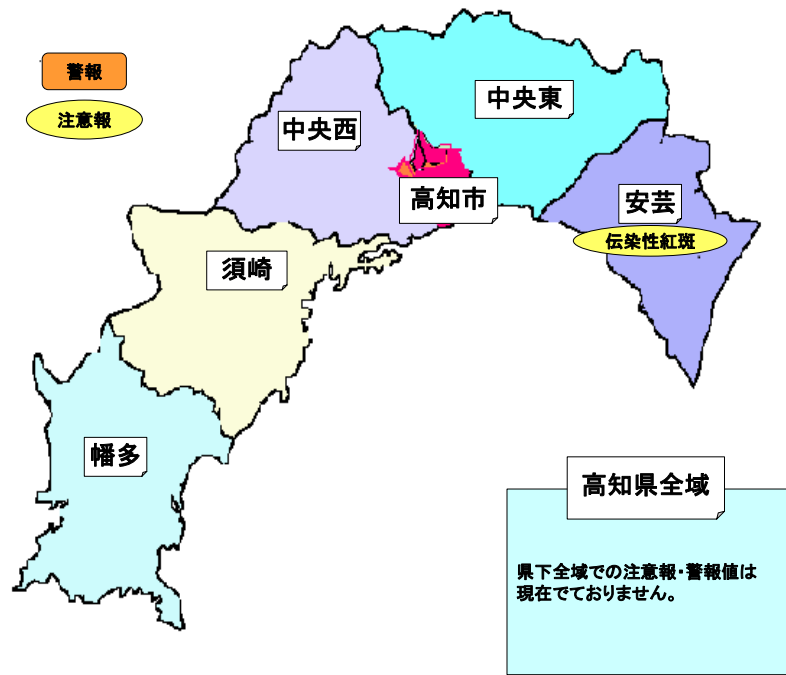
## ★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増   
 ↗ : 増加   
 → : 横ばい   
 ↘ : 減少   
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color: orange;">→</span>	3. 37	須崎、中央西で急減、高知市で減少していますが、幡多、安芸で急増、中央東で増加しています。
インフルエンザ	<span style="color: blue;">↘</span>	2. 56	安芸、中央東、幡多で急減、県全域、中央西で減少していますが、須崎で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color: blue;">↘</span>	2. 23	県全域、高知市、須崎、幡多で減少しています。
伝染性紅斑	<span style="color: magenta;">↗</span>	0. 37	幡多で急減、中央東で減少していますが、安芸、須崎で急増、県全域、高知市で増加し、安芸では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	<span style="color: magenta;">↗</span>	0. 33	中央西、須崎で急減していますが、高知市、幡多で急増、県全域で増加しています。

## ★地域別感染症発生状況



### 【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

#### 咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



## ★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

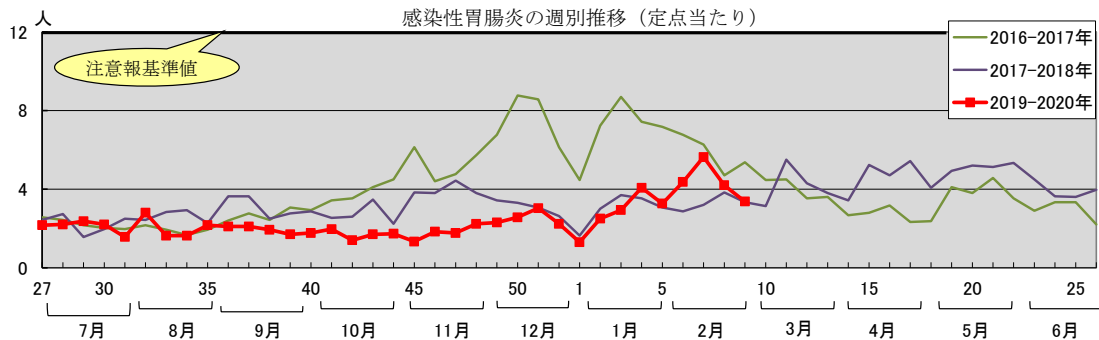
### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



#### <予防方法> 手洗いが有効です

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。（ノロウイルスについてアルコール消毒は無効です）

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう。

食中毒の一般的な予防方法（【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

#### 【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

#### ●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

#### ●衛生環境研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

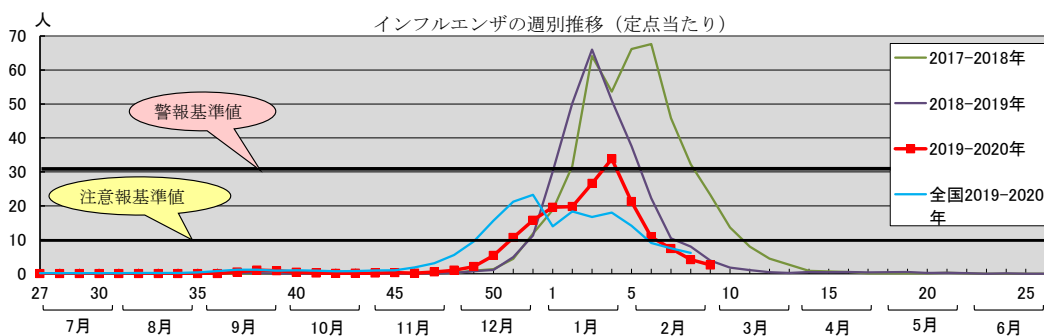
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

### ○インフルエンザに気を付けて！

学校等における集団発生の報告では、学年閉鎖、学級閉鎖の報告が続いています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 64 件、B 型 50 件、A 型・B 型同時検出 1 件の報告があります。

インフルエンザの報告数はピーク時（第4週：33.83件/定点）の約1/13に減少していますが、患者報告は継続しているため、外出後の手洗い等感染予防を心掛けましょう。症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。



学校等における集団発生

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
学級閉鎖	第9週	—	—	1	—	—	—	1
	累計	—	7	46	5	3	3	64
学年閉鎖	第9週	—	1	—	2	—	—	3
	累計	7	10	4	14	5	12	52
休校	第9週	—	—	—	—	—	—	0
	累計	—	—	—	2	2	1	5

<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/index.html)

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
9	感染性胃腸炎	38℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気,	4	女	須崎	Norovirus GII NT
9	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐, 嘔気,	5	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
						Norovirus GII NT
9	感染性胃腸炎	39℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気,	11	女	須崎	Norovirus GII NT
9	感染性胃腸炎	37℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気,	5	女	須崎	Rotavirus group A G9

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
8	突発性発しん	40℃, 嘔吐, 嘔気, 発疹,	11ヶ月	女	須崎	Human herpes virus 6
8	—	37℃, 発疹,	6	男	須崎	Human herpes virus 6
8	不明熱	39℃, 下痢, 嘔吐, 嘔気, 咳嗽,	1	男	須崎	Respiratory syncytial virus A

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週（2020年第4週～第8週）では、AH1pdm09の検出割合が最も多く76%（277件）、次いでB（ビクトリア系統）が23%（81件）、AH3が1%（5件）となっています。

### ※感染症発生動向調査の検体受け入れについて

新型コロナウイルス感染症が高知県内でも患者が確認され、感染拡大防止のため注意喚起がされているところです。当所におきましては、新型コロナウイルス感染症検査の増加が見込まれますので、感染症発生動向調査をしばらくの間中断をさせていただきます。流行がおさまり、通常業務ができる状態になりましたらFAX等でお知らせしますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

### ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	1	10	60歳代 男	幡多
5類	破傷風	1	1	70歳代 男	中央西
	百日咳	1	17	5~9歳 男	幡多
		1		5~9歳 男	
		1		30歳代 男	

### ★定点医療機関からのホット情報

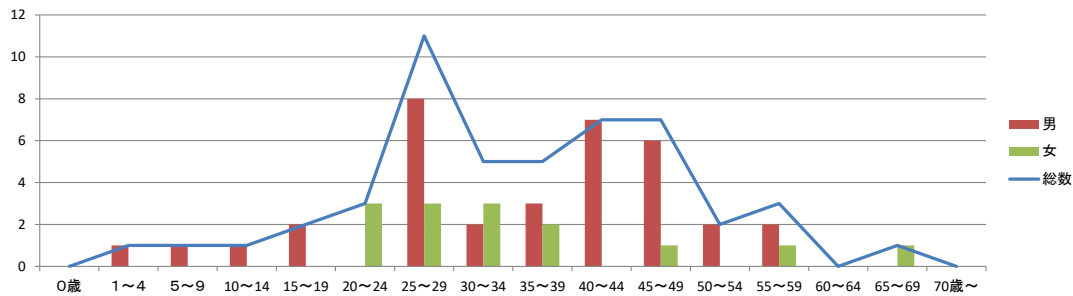
保健所	医療機関	情 報
中央東	おひさまこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎 1例 (13歳男)
	早明浦病院小児科	カンピロバクター+病原性大腸菌 O1 腸炎 1例 (12歳男) マイコプラズマ肺炎 1例 (3歳女) 溶連菌感染症 2例 (6歳男、11歳男)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ 3例 (A型 1例: 5歳男、臨床診断、ワクチン済み B型 2例: 8歳女 (ワクチン済み)、9歳女)
高知市	高知医療センター小児科	hMPV 3例 (2歳男、4歳女、5歳女)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 1例 (1歳) 病原性大腸菌 O-6 腸炎 1例 (17歳) ノロウイルス腸炎 4例 (1歳2人、3歳、12歳)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 3例 伝染性紅斑 3例 (4歳女、6歳男、11歳女) アデノウイルス感染症 1例 (3歳男)
	細木病院小児科	ノロウイルス 1例 (2歳女) カンピロバクター 2例 (2歳男、7歳男)
中央西	石黒小児科	インフルエンザ患者減少傾向 A型 4人、B型 1人
	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ B型 8例 (内 7歳女、33歳女: 四万十町)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 2例 hMPV 感染症 4例 (1歳、2歳、3歳2人) マイコプラズマ肺炎 1例 (5歳) ノロウイルス胃腸炎 2例
幡多	渭南病院小児科	ノロウイルス感染症 1例 アデノウイルス咽頭炎 2例 (8ヶ月男、4歳男)
	こいけクリニック	ノロウイルス胃腸炎 1例 (2歳男)
	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1例 (10歳男) インフルエンザ A型 1例

### ★県外で注目すべき感染症

#### ○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2020年第1週~第8週の累積報告数は49人となっており、そのうち91% (40人) が成人で、25歳から50歳代の男性を中心に (男性35人、女性14人) に報告数の多い状態です。

2020年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

**対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）

- ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布

1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

**検査受付**：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

**検査結果**：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加的対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html)

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html)

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/)

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

★注目すべき感染症

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（国立感染症研究所IDWR2020年第7号より）

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、中国を中心に感染が国際的に広がりを見せており、世界保健機関（WHO）は、2020年1月30日、新型コロナウイルス感染症について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言した。

2020年2月25日9時現在の患者数は、世界で計79,370例（内訳：国内以外では、中国77,658例、香港81例、マカオ10例、台湾30例、タイ35例、韓国833例、米国35例、ベトナム16例、シンガポール90例、フランス12例、オーストラリア22例、マレーシア22例、ネパール1例、カナダ10例、カンボジア1



例、スリランカ 1 例、ドイツ 16 例、アラブ首長国連邦 13 例、フィンランド 1 例、イタリア 229 例、インド 3 例、フィリピン 3 例、英国 13 例、ロシア 2 例、スウェーデン 1 例、スペイン 2 例、ベルギー 1 例、エジプト 1 例、イラン 61 例、イスラエル 2 例、レバノン 1 例、クウェート 3 例、バーレーン 1 例、オマーン 2 例、アフガニスタン 1 例、イラク 1 例、日本 156 例)、死亡者は 2,694 例とされている。国内では、2020 年 2 月 25 日午後 12 時現在で、新型コロナウイルスに関連した感染症の患者が 156 例報告されている(検査対象となった症例数は計 1,846 例)。156 例のうち、26 例は中国湖北省での滞在歴があった。また 2 月 3 日に横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」については、新型コロナウイルスに関する検査で陽性が確認されたのは、延べ 3,894 例の検査中 691 例(うち無症状病原体保有者は 380 例)となった。なお、国内外の患者数等に関する情報は刻々と変わっていることに注意されたい。

指定感染症へと届け出方式が変わった 2020 年 2 月 1 日以降に、2 月 19 日現在で NESID に届出られた 2020 年第 7 週(2020 年 2 月 16 日)までの 105 例について記述する。内訳は確定例 103 例(患者 89 例、死亡例 1 例、無症状病原体保有者 13 例)、疑似症患者 2 例であった。なお、本症については、サーベイランスシステムが届出に対応可能となった以降の情報のみ反映されていることから、公表データと必ずしも一致しておらず、注意が必要である。

この時点での症例の年齢中央値は 63 歳(範囲 21~91)で、男女比は 1.6 : 1(男性 65 例、女性 40 例)で男性に多かった。

主な症状について、情報が得られている範囲では(一部自由記載情報を含む)、届出時点で発熱 76 例(72%)、咳 49 例(47%)、重篤な肺炎 10 例(10%)、下痢 5 例(5%)、無症状 13 例(12%)であった。疑似症患者 2 例については PCR 検査実施中であり、他 103 例は病原体遺伝子あるいは分離・同定による病原体の検出により検査確定となっている。届け出られた感染地域として、国内では東京都が 15 例、和歌山県 7 例、神奈川県 2 例、愛知県 2 例、他に北海道、千葉県、京都府、大阪府、沖縄県がそれぞれ 1 例、都道府県不明が 17 例であった。国外では、中国 20 例(うち 18 例は湖北省)、ハワイが 1 例となっていた(2 月 20 日現在)。これらの一部はチャーター便 8 例を含んでいる。クルーズ船への乗船に関連する記載が 49 例で認められた。

新型コロナウイルス感染症は、これまで限られた知見しか得られていないが、飛沫感染・接触感染を主とする感染経路であり、一部の感染者には強い感染力を持つ可能性があると考えられている。臨床的な特徴としては、潜伏期間(2 月 23 日付 WHO)は 1~14 日(5 日間が最も多い)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が 1 週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状を呈し、胸部 X 線写真、胸部 CT などで肺炎像が明らかになる。また、発病者の多くが軽症であるといわれているが、高齢者や基礎疾患等を有する者においては重篤になる可能性があるため注意が必要である。

2 月 1 日に新型コロナウイルス感染症は、感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法の「検疫感染症」に指定されたことにより、疑似症患者や確定患者に対する入院措置やそれに伴う医療費の公費負担、検疫における診察・検査等の実施が可能となった。国外への滞在歴の無い感染例の報告が複数地域で相次いでおり、さらに、医療従事者への感染も報告された。このような状況を受け、2 月 25 日には、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が発表され、この中では、感染拡大防止策で、まずは流行の早期終息を目指しつつ、患者の増加のスピードを可能な限り抑制し、流行の規模を抑えること、重症者の発生を最小限に食い止めるべく万全を尽くすこと、社会・経済へのインパクトを最小限に留めること、が現時点での対策の目的とされ、対策の強化が進んでいる。

発行：高知県感染症情報センター(高知県衛生環境研究所)  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)  
TEL : 088-821-4961 FAX : 088-825-2869

この情報に記載のデータは 2020 年 3 月 2 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報  
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

定点名	疾病名	保健所	第9週 令和2年2月24日(月)～令和2年3月1日(日)							高知県衛生環境研究所			
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計) R1/12/30～R2/3/1	全国(8週末累計) R1/12/30～R2/2/23
インフル エンザ	インフルエンザ		7	17	64	23	5	7	123 ( 2.56 )	199 ( 4.15 )	30,192 ( 6.12 )	7,003 ( 145.90 )	511,076 ( 103.79 )
小児科	咽頭結核熱				4			1	5 ( 0.17 )	10 ( 0.33 )	1,225 ( 0.39 )	69 ( 2.30 )	9,785 ( 3.11 )
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		1	6	39	6	7	8	67 ( 2.23 )	99 ( 3.30 )	11,540 ( 3.66 )	687 ( 22.90 )	71,968 ( 22.91 )
	感染性胃腸炎		2	37	31	1	4	26	101 ( 3.37 )	126 ( 4.20 )	17,553 ( 5.57 )	949 ( 31.63 )	144,233 ( 45.90 )
	水痘			1					1 ( 0.03 )	3 ( 0.10 )	1,255 ( 0.40 )	42 ( 1.40 )	9,937 ( 3.16 )
	手足口病				5				5 ( 0.17 )	6 ( 0.20 )	346 ( 0.11 )	78 ( 2.60 )	3,687 ( 1.17 )
	伝染性紅斑		2	1	7			1	11 ( 0.37 )	8 ( 0.27 )	951 ( 0.30 )	107 ( 3.57 )	10,420 ( 3.32 )
	突発性発疹			1	2				3 ( 0.10 )	11 ( 0.37 )	951 ( 0.30 )	57 ( 1.90 )	6,967 ( 2.22 )
	ヘルパンギーナ				1				1 ( 0.03 )	( )	59 ( 0.02 )	5 ( 0.17 )	569 ( 0.18 )
	流行性耳下腺炎							2	2 ( 0.07 )	4 ( 0.13 )	156 ( 0.05 )	24 ( 0.80 )	1,244 ( 0.40 )
	RSウイルス感染症				7			3	10 ( 0.33 )	7 ( 0.23 )	909 ( 0.29 )	102 ( 3.40 )	7,504 ( 2.39 )
	眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	4 ( 0.01 )	( )	34 ( 0.05 )
		流行性角結膜炎							( )	2 ( 0.67 )	304 ( 0.44 )	6 ( 2.00 )	2,370 ( 3.43 )
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	6 ( 0.01 )	1 ( 0.13 )	60 ( 0.13 )	
	無菌性髄膜炎							( )	( )	10 ( 0.02 )	( )	77 ( 0.16 )	
	マイコプラズマ肺炎			3				3 ( 0.38 )	2 ( 0.25 )	186 ( 0.39 )	23 ( 2.88 )	1,227 ( 2.57 )	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	4 ( 0.01 )	( )	10 ( 0.02 )	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	( )	5 ( 0.01 )	4 ( 0.50 )	112 ( 0.23 )	
計		12	63	163	30	19	45	332		65,656	9,157	781,280	
小児科定点当たり人数	( 4.25 )	( 8.12 )	( 12.73 )	( 6.93 )	( 8.25 )	( 8.48 )	( 9.43 )				( 216.57 )		
前週 (小児科定点当たり人数)	( 6.75 )	( 9.99 )	( 16.74 )	( 14.40 )	( 20.50 )	( 9.43 )		477 ( 13.28 )					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第9週							高知県衛生環境研究所			
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計) R1/12/30～R2/3/1	全国(8週末累計) R1/12/30～R2/2/23
インフル エンザ	インフルエンザ		1.75	1.55	4.00	4.60	1.25	0.88	2.56	4.15	6.12	145.90	103.79
小児科	咽頭結核熱				0.36			0.20	0.17	0.33	0.39	2.30	3.11
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		0.50	0.86	3.55	2.00	3.50	1.60	2.23	3.30	3.66	22.90	22.91
	感染性胃腸炎		1.00	5.29	2.82	0.33	2.00	5.20	3.37	4.20	5.57	31.63	45.90
	水痘			0.14					0.03	0.10	0.40	1.40	3.16
	手足口病				0.45				0.17	0.20	0.11	2.60	1.17
	伝染性紅斑		1.00	0.14	0.64		0.50		0.37	0.27	0.30	3.57	3.32
	突発性発疹			0.14	0.18				0.10	0.37	0.30	1.90	2.22
	ヘルパンギーナ				0.09				0.03		0.02	0.17	0.18
	流行性耳下腺炎						1.00		0.07	0.13	0.05	0.80	0.40
	RSウイルス感染症				0.64			0.60	0.33	0.23	0.29	3.40	2.39
	眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.05
		流行性角結膜炎								0.67	0.44	2.00	3.43
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.13	
	無菌性髄膜炎									0.02		0.16	
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.38	0.25	0.39	2.88	2.57	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01		0.02	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	0.50	0.23	
計		4.25	8.12	12.73	6.93	8.25	8.48	9.43			216.57		
前週 (小児科定点当たり人数)		6.75	9.99	16.74	14.40	20.50	9.43		13.28				





# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第9週)

